



## 校長室だより～湘南の空～

第 15 号

令和 4 年 12 月 23 日

今年を振り返ると、湘南生は、日々の勉強、学校行事はもちろん、部活動や同好会での活躍が目覚ましかった。生徒の皆さんが好きなことを見つけてとことんやってみる姿は、多くの人に勇気を与えたと思う。湘南生はますます輝いている。皆さんの今後の挑戦を心より楽しみにしている。

### 平和の願いを歌と旋律で届けたい

12 月 16 日（金）、本校合唱部は、鎌倉芸術館小ホールで開かれたチャリティーコンサート「大地の詩チャリティーコンサート 2022～未来の子どもたちへ」でピアニストの西本梨江さんと共演した。開催のために尽力したテレビプロデューサーの関佳史さん（48 回）は「一回の公演で終わるのはもったいないくらいの素晴らしいコンサートだった」と高く評価。実際、合唱部の皆さんの歌声、豊かな表情に心を揺さぶられるような演奏だった。

公演の準備が進む 12 月 2 日、「平和への思いを音楽で届けたい」という意気込みで熱心に練習する様子がタウンニュース藤沢版で報じられた。関さんによると、取材中の本校音楽室でのリハーサルは鳥肌ものだった。

「飢餓のない社会に向けて『音楽でできることを』と 2001 年から 19 回にわたり実施しており、今回も収益の一部を国連食糧農業機関（FAO）に寄付する。」取り分け、合唱部部長の次の言葉に多くの人々が共感したに違いない。

「ウクライナ情勢で世界が揺らいでいる。平和の願いを歌と旋律で届けたい。」

### 「理解し合う力」は国や言語を超えて発揮される

11 月 20 日（日）、定時制・通信制高校の生徒による「生活体験発表大会」の全国大会が東京都内で開かれ、本校定時制生徒でカンボジア出身のポウ・ホイ・イーさんが NHK 会長賞を受賞した。このことがタウンニュース藤沢版 2022 年 12 月 9 日号に掲載された。

「人間には安心できる居場所が必要です。湘南高校定時制には『多文化共生部』があり、国や地域・人種も関係なく受け入れてくれます」

ポウさんは、多様な国籍や背景を持つ人が集まる多文化共生部に入部し、3 年生になってからは部長を務め、ベトナムやペルー、フィリピン、ブラジルなど様々な国籍の 10 数人と毎週活動した。今年の湘南高校文化祭（6 月 17・18 日）に向けた部活動の経験から多文化共生をテーマに掲げ、「当日の会場はクイズの答えを探す人、作文を読む人、コメントを書いてくれる人たちでごったがえしていました。そんな時、『みなさんは留学生ですか？』と何回も尋ねられました。

『ん？』（中略）『留学』とは、自分の意志で学びたい国へ行くことです。多文化共生部にいる私たちの家族は、政治・経済・戦争などの理由で日本に来たのです。文化祭が 私たちの存在を、正しく知ってもらうよい機会となりました。発信す

ることの重要さをも感じました。文化祭の準備は、皆アルバイトで忙しく時間のない中で、部長として焦ることばかりでした。時間を守ってくれなかったり、後で後でと準備が進まなかったり、けんか状態になりお互い辛い思いもしました。日頃の部活動、つまり、何年も同じ部屋で同じ時間を共有したことを思い出し、お互い理解しようと努めました。今、振り返ると、日常の活動こそが国や言語も違う私たちをつなげて、前に進む力となっていたのです。(中略)人間は生まれる国も時代も選べません。しかし、未来の選択肢は無限です。色々な所で会う仲間と共に、今できることを探していきたい」

初代校長赤木愛太郎先生が大切にした天分発揮とは、生徒が各自の中に眠る力を信じ、引き出し、仲間の可能性を認め、高め合うことではないか。互いを理解しようと努めることは、チームを一つ上のステージに押し上げることにつながる。全日制と定時制の生徒は、未来に向けて力強く進んでいけると信じている。

### **サッカーワールドカップ 選手の言葉 「笑顔にできたわー！」**

#### **酒井 宏樹 選手**

3大会連続でメンバー入りを果たした経験豊富なディフェンダー酒井宏樹選手にとってもワールドカップは特別な大会だという。

「ワールドカップは本当に別物なので1回目、2回目を経験したから、3回目うまくできるというそんな甘い大会ではない。本当に26人一丸となって戦っていかないと簡単に崩れてしまう。」(11月15日 NHK アスリート×ことば)

一般に、未来を切り拓くということは、多様な人々が一丸となって課題を乗り越えていくことだ。「一丸となって戦っていかないと簡単に崩れてしまう」と言われているところが社会や人生そのもののようで、サッカーワールドカップの大きな魅力の一つになっているのだろう。

「常に対戦する相手を上に見ないといけないと思っているので、そういう部分を毎試合、毎試合やっているの、今回も変わらずやらないといけない」

酒井選手はこの時すでに、日本よりも世界ランキングで格下のコスタリカを最も警戒すべきだと警鐘を鳴らしていた。

#### **堂安 律 選手**

12月1日、W杯予選リーグでスペインに逆転勝利を決め、決勝トーナメント進出を決めた日本代表。堂安律選手のサッカー人生に大きな影響を与えた兄、元Jリーガーで尼崎の地域貢献もかねたサッカースクールを立ち上げている憂さんは「試合直後に直接話すことはできなかったんですが、LINEで『ナイスゴール! よかったな!』と送ると、『やったったわー!』って(笑)。『日本国民を笑顔にできたわー!』とも返ってきました」(12月3日 Smart FLASH)

堂安選手が、子どものころから注目される試合で得点してきたのは、「得点しなければ」の先にある「笑顔にできたわー!」に向かっていたことが一因ではあるまいか。